

■足利持氏 武将。第4代鎌倉公方。将軍足利義教に反抗して潰された。

あしかがもちうじ

倭寇禁圧公約1398= 鎌倉公方足利満兼の長男に生まれ、

..... 1407= 9歳 :

足利義満没・1408=10歳 :

持氏鎌倉公方1409=11歳 : 父の死によって、室町幕府第4代の鎌倉公方となる。関東管領は引き続き上杉憲定。

..... 1410=12歳 : 元服。叔父足利満隆謀反のうわさ流れるも無事。満隆と連携していた上杉氏憲(禪秀)が関東管領を継ぐ。

..... 1412=14歳 : 判始。上杉憲定が頓死。

..... 1413=15歳 : 鎌倉公方の役目で由比ガ浜大鳥居再建。奥州伊達持宗反乱に、討伐軍派遣し鎮圧。

..... 1415=17歳 : 上杉氏憲(禪秀)を挑発して、失脚させたことから、

上杉禪秀の乱1416=18歳 : 上杉氏憲(禪秀)が反乱を起し、鎌倉を逃れ、駿河に入り今川氏の保護を受け、幕府軍の援助で鎮圧。

..... 1417=19歳 : 関東管領辞任した上杉憲基を懐柔再任し、将軍義持の子義量元服を賀すが、

..... 1420=22歳 : 従三位。上杉憲実が関東管領に就任するが、まだ10歳で、持氏の独裁が続いて、

..... 1421=23歳 : 幕府扶持の関東諸将討伐を始めたため、将軍義持の怒りを買ひ、

義持出家・1423=25歳 : 全面的な軍事衝突の危機にまで発展したが、上杉憲実らの奔走で、謝罪の誓書を京都に送り、

将軍不在化・1425=27歳 : 和睦が成立。

義教籤引将軍1428=30歳 : 義持が没して*義教が6代将軍となると対立は決定的となった。持氏は義教の将軍就任に賀使を送らず、

播磨国一揆・1429=31歳 : 永享と改元されたがあえて永享の年号を用いず、鎌倉五山の住持を勝手に任命するなど、_義教に対抗。

明貿易回復・1432=34歳 : *将軍義教も、富士遊覧と称して駿河に向かい、持氏を威嚇。上杉憲実が京都の将軍と鎌倉公方との和平を

願って画策したが成功せず、しだいに公方持氏と管領憲実との間に疎隔が生じ、

世阿弥配流・1434=36歳 :

永享の乱・1438=40歳 : 持氏の嫡子賢王丸の元服に際して、憲実が代々の鎌倉公方が将軍の一字をうけている先例に従って、賢王丸にも将軍義教の一字を幕府に申請するよう求めたが、持氏はこれを退けて義久と命名したことから、*持氏と憲実の間は決裂した。憲実は上野国白井城に引き揚げ、持氏は憲実を追討するために自ら武蔵府中の高安寺に出陣、将軍義教はこれを機に持氏追討を諸将に命じ、永享の乱が始まる。幕府軍による包圍網と千葉・三浦氏などの諸将の寝返りによって孤立した持氏は、憲実に和平を申し入れたが拒否され、武蔵金沢の称名寺に入って剃髪した。憲実の重臣長尾忠政は軍勢をひきいて称名寺を包圍し、持氏を鎌倉の永安寺に移して監禁した。憲実は持氏の助命と嫡子義久の鎌倉公方就任を幕府に懇請したが将軍義教はこれを許さず、

永享の乱終・1439=41歳 : 相国寺の長老柏心を関東に下して持氏の誅伐を命じた。憲実の軍勢は永安寺を包圍し、持氏は叔父満直以下30余人とともに、_自害した。